

第15節 幼稚園教育

人間形成の基礎は幼児期に築かれる。健全な環境のもとで幼児たちに、よりよい教育を受けさせることは県民共通の願いである。

本県においても長期総会計画にもとづき、その設置の促進や幼稚園教育の充実振興のための諸施策を着々と進めているが、いまだに現下の幼稚園教育には、園の増設並びに施設の拡充、教育内容の充実、教職員の待遇改善、父兄の負担軽減など、教育条件整備上の重要な問題が山積している。特に、教職員の資質、指導力の向上と、そのための研修の強化は急務である。

幼稚園教育の充実発展をはかるため、県教育委員会は福島県幼稚園協会の協力を得て、国・公・私立幼稚園の緊密な連絡提携をはかりながら、下記の事業を実施した。

I 幼稚園教育課程福島県研究集会の開催

(1) 目的

幼稚園教育課程の実施に伴う指導計画の作成、および指導上の諸問題について研究協議し、教職員の指導力を高め、もって幼稚園教育の振興充実を図る。

(2) 期日

7月13日・14日（2日間）

(3) 主催

福島県教育委員会

(4) 会場

郡山女子大学附属幼稚園（郡山市桑野北町1）

(5) 日程

10.00 10.40 10.50 12.00 1.00 2.00 4.30

| 7月13日 | 受付 | 研究保育参観 | 移動 | 指導保育参観 講師 山中先生 | 昼食 | 開会式 | 研究協議 (共通問題) | |
|-------|----|---------------|----|-------------------|----|-----|----------------|--|
| 7月14日 | | 研究協議 (県問題) | | | | 閉会式 | | |

(6) 研究主題

県問題 第1部会 「友だちとの遊びや仕事のなかで幼児の自主性を育てるための指導はどうあるべきか」

第2部会 「幼児の造形活動のなかで、創造的表现をひきだすための指導はどうあるべきか」

共通問題 第1部会 「教育課程の実施にあたって、週の指導計画の作成をどのようにしたらよいか。これを目案に具体化する場合、どのような配慮が必要か」

第2部会 「幼児みずから選んで行なう経験や活動、グループで行なう経験や活動、学級全体で行なう経験や活動の指導はどのようにしたらよいか。特にどのような配慮やくふうが必要か」

(7) 参加者

国・公立幼稚園関係者 220名
私立幼稚園関係者 300名

2 幼稚園実技講習会の開催

(1) 目的

幼稚園教育要領の「言語」、「絵画製作」の領域について実技に関する指導力を高め、もって幼稚園教育の振興充実に資する。

(2) 主催

文部省、福島県、福島県教育委員会

(3) 会場

郡山市立橋小学校

(4) 期間

8月5日～8月11日（7日間）

(5) 部会別受講人員

言語部会 33名、絵画製作部会 27名

(6) 講習課程

教職に関する専門科目

付与単価 保育内容の研究（言語） 1単位
" (絵画製作) 1単位

(7) 講師名及び担当

福島大学教育学部 教授 菅野 宏（言語）
" 助教授 宮脇 理（絵画製作）
県教育庁指導課指導主事 岡部一三、ほか4名

3 幼稚教育課程研究推進校の指定

- 研究推進校名 会津坂下町立坂下幼稚園
- 研究期間 昭和43～44年度の2ヵ年間
- 研究主題 「色彩感覚を育てる効果的な指導法」

4 東部地区幼稚園教育指導者講座への参加

- 期日 6月26日～28日（3日間）
- 会場 札幌市 雪印健保会館
- 参加者 参加人員 153人、本県より3名参加
福島県教育庁指導課指導主事 渋谷靖十郎
会津坂下町立坂下幼稚園園長 目黒 克己
福島市 めばえ幼稚園 園長 関 マス

5 幼稚園教育課程研究発表大会への参加

- 期日 11月6日～7日（2日間）
- 会場 国立教育会館
- 参加者 本県より8名参加下記は県費派遣
会津坂下町立八幡幼稚園教諭 渡部 和子
川俣町立川俣幼稚園 教諭 吉田 ノブ